

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	まなぶる➤ときわびとⅡ				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	4.4	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
改善点の記述が少なかったので、ほとんどの学生にはこの授業のねらい、意図を理解していただけたのだと思います。 専門職業人になるうえで、また1年次に身に付けてもらいたい、「計画的学修」の習慣の修得と「学び合い、教え合い」による学習効果を実感してもらうことができたと思われます。 SPIを教材として活用する目的やSPIの難しさに疑問を抱く学生も数人見られました。その意図については授業の中で説明いたしましたが、より丁寧に今後も伝えていきたいと思っています。 担当教員によって少し授業内容や授業方法が変わるということについても授業内で説明したと思いますが、先生方は専門がそれぞれで、所属学科も異なります。それぞれの先生の教育観や指導法についてふれること、それらの違いを知ることもこの授業の面白いところです。なにか疑問に思うことがあればこれからの授業の中で先生方にどんどん質問してってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	田中達也				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.8	4.7	4.8	5	
学生へのメッセージ					
本授業の目的は、科学的リテラシーとしてのアーギュメントについて学ぶことで、今後の大学での理系科目を受講する上での基礎を築くことであります。 本授業の特徴であるアーギュメントは、近年の科学教育でも強調されている論証構造であります。アーギュメントは、科学が社会的な実践であり、コミュニティの産物が科学的知識であるという科学観に基づき、批判的な精査を行う科学的知識構築において必要不可欠なプロセスであるとされています。 授業においては、日常の中にある科学的な事象(主として物理分野)を取り上げ、アーギュメントの構成や自身の構成したアーギュメントの自己評価や相互評価を通して、データと証拠を科学的に解釈することに挑戦しました。戸惑いながらも論理的に科学的な説明を組み立てられたことは大変素晴らしいことです。 この授業での学びは今後の大学生活はもちろん、他者との合意形成の場面において、自身の主張を相手に納得しやすい形で提供することができる汎用的なスキルでもあります。ぜひ、レポート作成や他者との議論でも意識をされて使ってみてください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	5	4.6	4.8	5	
学生へのメッセージ					
今年の皆さんは非常に意欲的に取り組んでくれました。主にペアワークでひとつの課題に取り組んでいき、全体でそれを発表、講評しあうという形でしたが、活発な意見交換があり、充実した授業になったと思います。皆さんは日本語のセンスも良く、積極的に取り組んでくれました。それぞれが自分の意見を持ち、個性を活かして課題に取り組むことが出来たと思います。私自身、言葉に対する皆さんの感性に驚かされたり、感心したり、新しい発見をさせてもらいました。学科を横断し、それぞれの専門職を目指す人たちとお話できて、得るものも多かったのではないのでしょうか。まとめの授業でもお話ししましたが、皆さんはこれから言葉を大切にしなければいけない職業に就きます。このゼミで学んだことを活かして言葉のもつ力と向き合い、言葉を磨いていってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	江崎ひろみ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	5	5	4.9	5	
学生へのメッセージ					
本科目は 教員の研究分野に興味を持っていただき、探求する姿勢を身につけていただくことを主眼に置いていました。皆さん高齢者へのやさしい思い・姿勢を備えた学生さんばかりで、一緒に体験し、考える時間はとても楽しかったです。5 人がそれぞれの意見を出し共同作業をすることもできたと思います。これから臨床検査技師として歯科衛生士として、摂食嚥下分野のケアや治療に関わることがあるかもしれません。多職種が連携しその専門性をいかした活動の先駆けとなる経験をしていただけたのではなかと思います。(江崎)					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	アカデミックライティング				
担 当 者	山下敦子 牛頭哲宏 神田大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.4	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
アカデミックライティングでは、論理的な文章についての言語力、表現力、読解力を身につけることをめざしてきました。毎回のレポート提出は、大変だったと思いますが、多くの受講生の方が、熱心に真摯に取り組んでいました。感想にも、「毎回の添削に励まされた」等のコメントがたくさんありました。自信に繋げてほしいと思います。 この授業で身につけた力は、レポートや論文を書くことの基礎・基本となります。これからも、日常生活や他の授業で「活用」してってください。「活用」することで、言語力、表現力、読解力は向上しますし、磨かれていきます。まだまだ書いたり読んだりすることに苦手意識をもっている人もいますが、この授業で学んだことを意識してまずは、やってみてください。「継続は力なり」です。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.2	5	5	5	5	
学生へのメッセージ					
調べ学修、発表会、実験、ディスカッション…と盛りだくさんの授業でした。 アルコール代謝酵素の遺伝子検査について、知識と技術を学ぶだけでなく、社会とのかかわりについても議論して皆さんの意見をまとめていただきました。内容は少し難しかったかもしれませんが、多角的に考える経験を積んでいただけたのではないかと思います。 これからの専門科目で知識や技術を身に着けて、更に深い議論ができる社会人を目指してください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	安全学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。 大きな災害が頻発する近年において、各人が防災を考えることは当たり前のことになってきています。今年も新年早々に北陸で痛ましい災害が発生してしまいました。いま、自分の身に同じことが起こったらどうしますか？この授業で知ったことが役に立ちますか？ 特に、専門職を目指すみなさんには、一人の市民としてだけではなく、「職業人」としての防災や安全についての知識や意識が求められます。それは言い換えると、有事の際には「自分だけではなく自分以外の誰かを守る」という職業的責任、あるいは職業倫理を持たなくてはならないということです。 一方で、授業の冒頭にもお話ししましたが、この授業はオムニバス形式です。オムニバスは、いろんな知識を幅広く得られるメリットに対して、得られた情報・知識を自分の中で消化して「再構築」していかなければなりません。これが十分でないと「学び無し」にもなり得るということです。この点はいかがでしたか？今回の授業評価の回答率は高くなかったのですが、その結果を見る限りは、その点が少し不十分だったかもしれません。これは、この科目の構造的課題でもあります。 この授業の経験が、将来のみなさんのプロフェッショナリズムや今後の学び方につながることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ B				
担 当 者	深川 幹				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3	5	5	5	5	
学生へのメッセージ					
この講義では皆さん自身が体験を通して自然への興味関心を深めること、そしてその魅力を発信できる人になってもらうことを目標としていました。授業評価を見させていただいた限り、それらの目標は概ね達成してくれたかと思います。 前半はこちらから提供した自然観察、ネイチャークラフト、竹を使った制作などを体験し、後半ではそれぞれのグループで決めたテーマで制作・発表を行いました。途中からゼミを移動になった方もいたので大変だったかと思いますが、皆さん積極的に参加してくださり円滑に進めることができました。 今後も身の回りの事象に興味を持ち、それを人に伝えることのできる技術を身に付けてくださることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	4.6	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。 この授業は、コロナ禍時代の遠隔授業の実践を踏まえて、対面と遠隔とのブレンド型で行いました。授業設計は、新聞を介した時事問題を題材にして、「自分で課題を見つけて、その課題を自分で解決する」というこれからの社会人（「働いている人」という意味ではなく、社会に生きる全ての人）に求められる力を、体験的に身につけてもらうことを企図しました。 実際の授業は「自分たちで授業を創る」というスタイルでしたが、実際にやってみてどのように感じましたか？授業評価を見る限りは、みなさん主体的に取り組んでいた様子が伺えて、とても良かったと思っています。授業中にも言いましたが、大学生にとっていちばん大切な姿勢は「主体性」です。ここでの経験が、今後のみなさんの学びに少しでも役立てば嬉しいです。 最後に・・・、これからも新聞はぜひ読んでくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	miniゼミ B				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.8	4.8	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
「核アレルギーを根絶できるか」というテーマでしたが、実験や、調査研究など、多方面からのアプローチで、テーマについて学んでもらえたと思います。今回は福島県帰宅困難地域の土壌の深さの放射線濃度や自生のヨモギのオートラジオグラフィの測定してもらえて良かったです。また、残念なことに最近話題になっている核兵器について、現状を考えながら、いろいろと考えてもらえたと思います。 ①この授業でよいと思った点 ・ 普段、M科の授業では使わないものに触れられて楽しかったです。 ・ 最初はM科が少なくて不安でしたが、とても楽しくあっという間に時間が過ぎるミニゼミでした！ありがとうございました！！ ・ 実験などができて、とても楽しかったです。また、様々なものに興味を持つことができました。 ・ 実際にいろいろ機材や物を使えたところ。 ②この授業で改善すべきだと思った点 なし					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ（保・幼教コース）				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.8	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
コミュニケーションのツールである英語は使いながら学習しなければ上達はしません。この考えに基づき、この授業では英語を使うことを意識してもらいました。そうした活動の一つがパワーポイントを使った英語発表でした。これは準備が大変だったと思いますが、毎回、みなさんの発表をととても楽しませてもらいました。 コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることは、今以上に必要になることが予想されます。中学校や高校で英語学習につまずいてしまった人も少なからずいると思いますが、今の段階でそれぞれがもっている英語の力を使ってできることは必ずあります。それをこの授業で実感してもらいたいという思いで授業をしました。みなさんに取り組んでもらったペアワーク、グループワーク、英語発表、エッセイなどを通して、自分の知っている英語を使ってコミュニケーションを取ることができる、と感じてもらえたのなら、とても嬉しく思います。英語でできることをさらに増やせるよう、是非英語学習を続けていってほしいと思います。また、海外のことやできごとに興味を持つことも大事です。好きなアーティストの英語の歌やインタビュー、英語の映画、英語の雑誌、英語絵本などなんでもいいので、これからも英語と関わり続けてください。英語学習で困ったことや、質問があるときは、いつでも研究室を訪ねてくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ（義務教育コース）				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
4.1	4.4	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
コミュニケーションのツールである英語は使いながら学習しなければ上達はしません。この考えに基づき、この授業では英語を使うことを意識してもらいました。そうした活動の一つがパワーポイントを使った英語発表でした。これは準備が大変だったと思いますが、毎回、みなさんの発表をととても楽しませてもらいました。 コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることは、今以上に必要になることが予想されます。小学校教員を目指す人は、英語を教えることにもなります。中学校や高校で英語学習につまずいてしまった人も少なからずいると思いますが、今の段階でそれぞれがもっている英語の力を使ってできることは必ずあります。それをこの授業で実感してもらいたいという思いで授業をしました。みなさんに取り組んでもらったペアワーク、グループワーク、英語発表、エッセイなどを通して、自分の知っている英語を使ってコミュニケーションを取ることができる、と感じてもらえたのなら、とても嬉しく思います。 英語でできることをさらに増やせるよう、是非英語学習を続けていってほしいと思います。また、海外のことやできごとに興味を持つことも大事です。小学校教員を目指す人にとってはその姿勢は必須です。まずは、好きなアーティストの英語の歌やインタビュー、英語の映画、英語の雑誌、英語絵本などなんでもいいので、英語と関わり続けましょう。英語学習で困ったことや、質問があるときは、いつでも研究室を訪ねてくださいね。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション II				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.2	4.3	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
「英語コミュニケーション II」では読むことと書くことに焦点を当てて、授業中に丁寧にテキストの英文を読み、それを基に英語の作文を行いました。 読むことに関しては、雰囲気を読まずに、きちんと文法を押さえることの大切さが分かってもらえたら嬉しいです。細かいことですが、今のうちに基礎を定着させておくことが大切です。 書くことに関しては、難しい表現ではなく、自分の知っている範囲の単語や表現を使って、自分の意見を述べるかがポイントでした。 授業外で電子書籍を含む graded readers の読書とレポート作成が課題として与えられていました。この課題のねらいは、授業で取り上げるリーディングの不足を補うことと、意欲的に英文を読んでもらうことでした。英語の本を読むことは大変だったと思いますが、レポートでは、初めて英語の本を 1 冊読んだことに対する充実感が伝わってきました。この授業が終わったから、もう読まない…ということがないように、是非、続けてほしいと思います。graded readers を使っての多読は英語の力を総合的に向上させる効果があることが分かっています。また、色々なジャンルの内容に触れることで、皆さんの興味の幅も広まるかと思います。図書館に多数揃っていますので、時間を見つけて読んでみてください。 この授業を通じて自分の学習スタイルを確立してもらうことも目標のひとつでした。自分にあう英語の勉強の方法を見つけることができたでしょうか？manaba で毎回課題を出していました。課題自体はそれほど難しいものではなかったのですが、毎週きちんと取り組むということが目的の一つでした。ほとんどの人が 1 回も飛ばすことなく、課題提出ができていたのが良かったです。この習慣をなくさないでいてください。 医療系の仕事には英語は欠かせませんので、学生時代には日々英語に触れてほしいと思います。「勉強」と堅苦しく考えず、英語を楽しんでください。検定試験を受ける、映画を楽しむなど、具体的で身近な目標を立てることが効果的かと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（水１・２限）				
担 当 者	近藤みづき・松本大佑				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
2.9	4.4	4.3	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
授業評価結果から、学生自身の分野以外は平均を上回る評価でしたので、ある程度皆さんが満足いく授業が展開できたと思います。 自由記述では「様々な種目に挑戦することができ、楽しかったです。また、普段話さない人とも話すことができました。」「実習が多く、身をもって体験できた」のコメントがありました。一方で、「バドミントンとテニスで似たような競技をしたため、授業を分けて少人数でできること以外感じるできませんでした」とのコメントがありました。スポーツ種目に関しては、次年度に向けて検討します。 「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、学生の皆さんが毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。今後、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅲ（火３・４限）				
担 当 者	近藤みづき・柳本太三				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.2	4.8	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
授業評価結果から、学生自身の分野以外は平均を上回る高い評価でしたので、皆さんが概ね満足できる授業が展開できたと思います。 自由記述では「楽しい雰囲気です授業できて良かった」「ゲームが多かったので楽しく授業を受けられた」「チームで戦うのが楽しかった」「苦手な人でも活躍できるように、しっかりとルールが作られていて非常に良いなと感じた。授業回数が少ない中でも、丁寧にルールや技術などを教えていただけて非常に分かりやすかったです」のコメントがありました。 一方で、評価についての質問がありました。評価についてはシラバスに示していますので、その範囲以外のことは質問していただきたいと思います。 「健康スポーツ科学Ⅲ」の授業は、学生の皆さんが毎回の実技で健康に必要な身体活動量を確保するとともに、それぞれのスポーツがもつルール、マナー、文化等を理解し、各自の生涯スポーツにつながることを期待しています。今後、この授業で得た経験が生涯スポーツに活かされることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	mini ゼミ B				
担 当 者	松田 正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.9	4.8	4.9	5	
学生へのメッセージ					
私の専門領域に関するごく初歩的な内容のゼミでした。将来、臨床に進むか、基礎領域の研究に進むか、迷った時の参考になれば幸いです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	コミュニティデザイン				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.4	4.7	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
現代の社会・地域には、少子高齢化をはじめとする様々な社会的課題が山積しています。コミュニティをデザイン（場をつくる・人を繋ぐ）することで、課題を解決していく可能性を授業で感じてもらえたら嬉しいです。これからの社会では、モノをつくるだけでなく、コトをつくる能力が求められます。授業で学んだことを活かし、社会で活躍できる人になっていって下さい。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	2, 3, 4		
科 目 名	プロジェクトデザイン				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.8	4.7	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
イベントでのプログラム実施、みなさんお疲れ様でした。参加者とのコミュニケーション、臨機応変な対応、とても素晴らしかったです。授業でのプログラム制作の過程を通じて、企画すること、デザインすること、伝えることのエッセンスを感じてもらえたら嬉しいです。今後も、プログラムを企画する力をもっと身につけていき、将来子どもたちが目を輝かせて参加するプログラムを作れる良い先生になってもらえたら嬉しいです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	プログラミング入門				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.4	4.4	4.2	4.5	
学生へのメッセージ					
学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」や「板書、スライド、教材などの使い方は適切だった。」という事柄に対してやや課題が残るという結果になりました。毎年レポートを読むと皆さんがいろいろな工夫をしてプログラムを作成していることがわかります。高校では情報の授業でプログラミングを今まで以上に取り組む形になっていますが、医療や教育の分野で皆さんより年上の人たちでは、まだまだプログラミングは「特殊技能」的な技術になっていると思われます。実はこれは大きなチャンスです。この授業での経験を今後の他の授業だけではなく、社会に出ても活かしてください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	地域との協働 A				
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.3	4.5	4.6	4.4	
学生へのメッセージ					
ぜひ自ら企画して実践した活動の経験をこれからの大学生活で役立ててください。今後も積極的にボランティアに参加されることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	科学技術論				
担 当 者	鈴木 濱田 高久 伊藤				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3	3.7	4	3.6	3.9	
学生へのメッセージ					
皆さんの授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。科学技術論は、科学と社会との関係を科学の発達の歴史と共にみていくもので、4名の教員がオムニバス形式で授業を展開しました。様々な切り口でとらえることに対してポジティブな評価いただいた一方、個々の授業同士のつながりがわかりにくくなり、結果として授業以外の学修時間が少なくなってしまったことが反省点です。次年度は、教員同士のお互いの授業内容の把握・連携を心掛けて、授業科目として一貫性を持たせたいと考えます。また開講曜日時間に関してもご意見をいただきましたので、善処したいと思います。 本授業は日進月歩の科学についての理解を深め、今後の科学（技術）が発展する方向などを自ら考える力を身につけることを目的として本年度初めて実施しました。授業で学んだことで興味をもったトピックがあったら、自主的に図書館などで文献を探して、さらに発展的な勉強をしていてもらいたいと考えます。					